

3-(3) 災害対応編を策定する【土砂災害】

平成25年の台風第18号、平成26年8月の台風第11号、8月16日豪雨では京都市内においても大きな被害が発生し、併せて土砂災害も発生しました。

水災害は、地震に比べて事前予測がある程度可能なので、災害に備えることができますが、土砂災害は事前予測が非常に難しい災害です。

地域で想定される浸水想定、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を把握しておくことが重要です。

そのうえで、土砂災害に対する防災行動について

- いつ（時間、状況）
- 何を（防災行動）
- 誰が（実施者）

をあらかじめ決めておき（このような事前計画を「タイムライン」といいます。）、早めに対応することができれば、災害発生時には避難行動が完了し、被害を最小限にとどめることができます。

土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域に指定されている（今後指定される）地域があれば、土砂災害対応のマニュアルを策定しましょう。

土砂災害編の防災行動マニュアルにも、資料1（防災マップ）、資料2（緊急連絡網（様式2））、資料3（自主防災会・自主防災部名一覧表（様式1））を添付しましょう。

(1) 居住地域による避難行動の一例

避難行動については、居住地域の状況に基づいてあらかじめ決めておきます。

指定地域・自宅の建物状況による避難基準			
	崖地・渓流沿いの家屋	平屋建て	2階建て以上
土砂災害特別警戒区域	緊急避難場所、区域外の安全な建物へ避難		
土砂災害警戒区域	緊急避難場所、近隣の安全な建物へ避難		崖や渓流から離れた上階の部屋へ垂直避難
それ以外の地域	緊急避難場所、近隣の安全な建物へ避難		自宅に待機

※避難の時機を失した場合等の緊急時には、自宅内の崖や渓流から離れた上階の部屋、近隣の丈夫な建物へ避難します！

(2) 土砂災害発生までの流れと主な活動

土砂災害発生までの大まかな流れは、次のようになります。

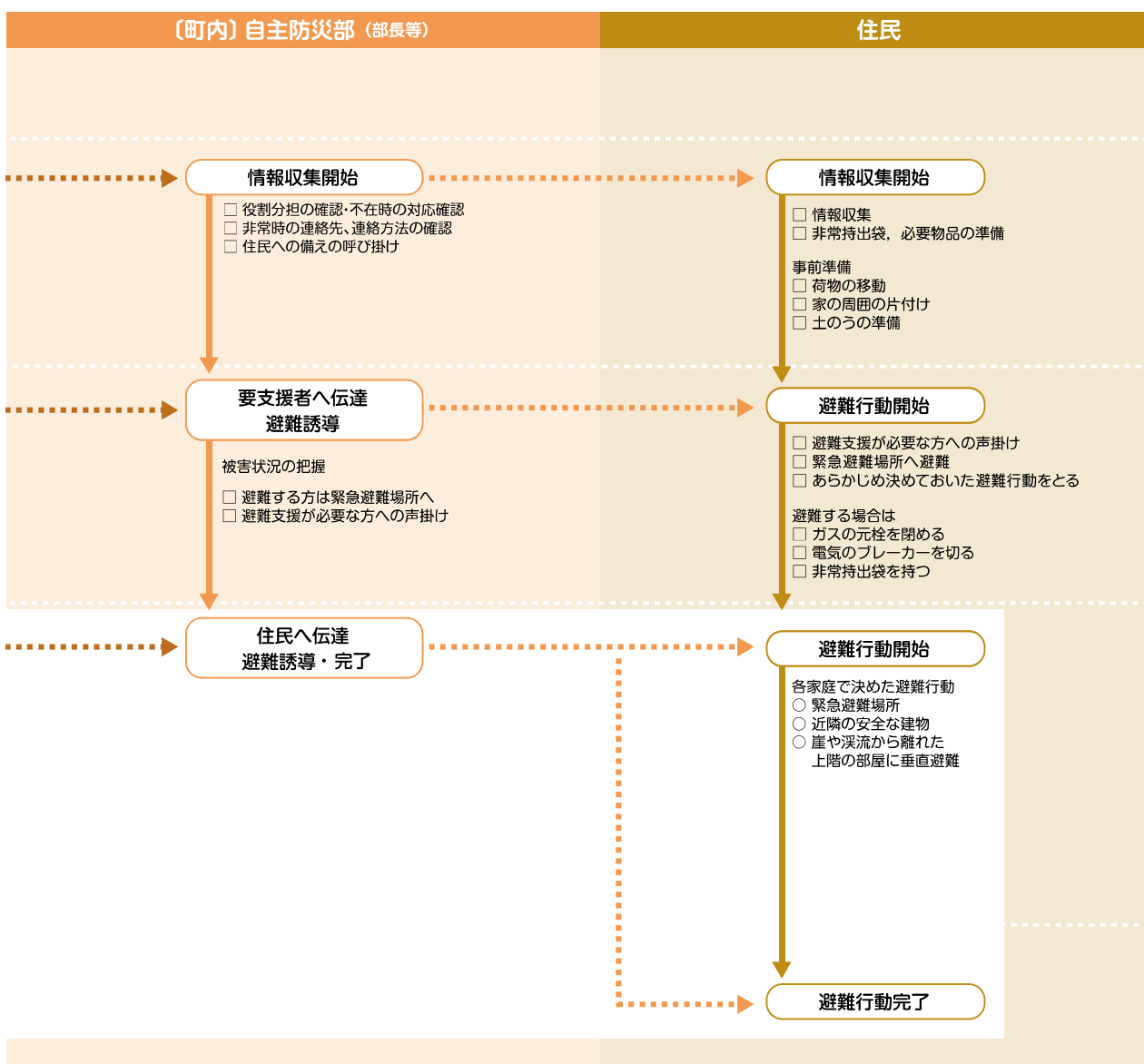
ただし、事象と行政の対応は目安であり、一致しないこともあります。

また、気象情報や避難情報は、必ずしもこの順序で発令されるわけではなく、高齢者等避難が発令されずに避難指示が発令されることがあります。



※必ずしもこの順番どおりに発生するものではありません。

※記録的短時間大雨情報・前兆現象は必ずしも発表・発生するものではありません。



マニュアル作成でまず、決めなくてはならないこと

(3) いつ 緊急避難場所を開設するか

大雨警報（土砂災害）が発表され、かつ土砂キキクル（*）で「紫」が表示された場合や、地域住民の方々が自主避難をされる場合は、緊急避難場所を開設していただかなければなりません。

自主防災会として、いつ緊急避難場所を開設するのかを決めておく必要があります。

きっかけとなる「避難情報」は、大きく「高齢者等避難」「避難指示」の2つがあります。

「高齢者等避難」が発令されれば、要支援者の方が避難行動を開始するので、緊急避難場所の開設をしなければなりません。

ただし、必ずしもこの順番どおりに発令されるとは限らず、いきなり「避難指示」が発令されることもあります。

緊急避難場所の開設及び住民の避難のきっかけとなる事象、避難の発表方法等を考えておきましょう。

（*）気象庁がHPで公開している土砂キキクルは、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域（メッシュ）ごとに5段階に色分けして示す情報です。

緊急避難場所を必ず開設するときは

- ☐ 京都市（区役所）から開設依頼があったとき

自主防災会で決める緊急避難場所を開設する基準は

- 例）☐ 区役所から緊急避難場所の開設が可能かどうかの事前確認の連絡があったとき
☐ 台風の通過が予測できる状況で、気象警報が発令されたとき

【予備的避難について】

台風はその大きさや強さ、進路の予報からいつ最も接近し、被害の発生のおそれが高くなるのか予測することができます。

日没前に自主避難を完了し、被害を防ぐというのが予備的避難です。山間部や河川沿いでは、暗くなってからの避難はかえって危険ですので、予備的避難の取組を進めましょう。

また、孤立するおそれのある地域では、早期に避難が完了できるよう取組を進めましょう。

【土砂災害危険度とは】

大雨警報（土砂災害）の危険度分布は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で色分けして示す情報です。大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報等が発表されたときに、大雨警報（土砂災害）の危険度分布により、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

- ☐ 地域に伝わる過去の土砂災害の教訓（ここまで水が来たら危ないなど）や過去の土砂災害発生時の降雨状況などから決めた基準に達したとき

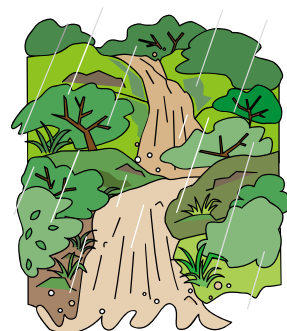
例：〇〇〇の総雨量が〇〇mmになったときなど、具体的に記載しましょう。

- ☐ 地域住民から、身の危険を感じるような前兆現象の報告があったとき
- ☐ 地域住民から、自主避難の報告があったとき
- ☐ 地域内での被害が発生したとき

例：〇〇〇から水が噴き出したとき
など、過去の経験や言い伝えから具体的に記載できる場合は記載しましょう。

その他必要事項

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐



(4) 誰が 何をするのか

いざというときのために役割分担を決めておきます。

役割分担表（土砂災害）（様式 3－3）に記載していきましょう。

（地震編、水災害編で既に作成した役割分担があれば、それを基に作成します。）

役割分担表ができれば、防災行動マニュアルの資料 4として添付します。

● 緊急避難場所の開設

緊急避難場所の名称とそこを開設する担当者を記載してください。

● パトロール

パトロールする箇所を決めている場合は、その箇所と担当者、いつ実施するのかを記載してください。

● 要支援者に対する情報伝達

要支援者の方へ誰がどのようにして情報を伝えるかを記載してください。

● その他

決めなければならない役割があれば記載してください。

乳幼児がいるご家族、障害のある方、高齢の方、LGBTの方など、避難時における特別な配慮や支援がいる方についても検討しておきましょう。

(5) 防災行動マニュアルの作成

作成例に掲げる項目について検討し、実施する項目を自主防災会の防災行動マニュアルに反映していきます。

また、災害図上訓練 DIG で検討した結果、課題となった事項や実施すべき事項などで、記載されていない項目があれば追記していきましょう。

役割分担表（土砂災害）

	氏名・役職	氏名・役職	備考
緊急避難場所 1 （ ）開設			
緊急避難場所 2 （ ）開設			
緊急避難場所 3 （ ）開設			
パトロール箇所 1 （ ） いつまで （ ）			
パトロール箇所 2 （ ） いつまで （ ）			
その他 （ ）			
その他 （ ）			
その他 （ ）			
その他 （ ）			

【作成例】

〇〇〇学区自主防災会 防災行動マニュアル（土砂災害）

① 自主防災会本部を設置するとき

- ☐ 高齢者等避難、避難指示が発令されたとき

② 土砂災害が起こる前に

- ☐ 気象情報・台風情報等を入手する
- ☐ 本部役員等の役割分担（資料４）の確認・不在時の対応を確認する
- ☐ 緊急連絡網（資料２）、防災行動シート、情報伝達文を確認する
- ☐ 非常持出袋を準備する【飲料水・食料・ラジオ・懐中電灯・雨具・携帯電話・筆記用具】
- ☐ 必要物品を準備する【〇〇〇中学校の鍵、会本部開設グッズ、要支援者名簿】
- ☐ 携帯電話やラジオなど、情報収集・伝達ツールの充電などを行う
- ☐ 自主防災部長等へ、地域住民への備えの呼び掛けについて依頼、ビラの配布を行う

③ 大雨警報（土砂災害）かつ土砂災害危険度「危険」（紫）が発表されたら

- ☐ 緊急連絡網による情報伝達【電話、一斉メール、SNS】を行う
- ☐ 緊急避難場所【〇〇〇中学校】の開設を準備する
- ☐ 土砂災害対象自主防災部を通じて、大雨警報（土砂災害）かつ土砂災害危険度「危険」（紫）が出たこと、緊急避難場所として【〇〇〇中学校】の開設準備中を住民へ伝達する

④ 高齢者等避難が発令されたら

- ☐ 緊急連絡網による情報伝達【電話、一斉メール、SNS】を行う
- ☐ 自主防災部を通じて、高齢者等避難が発令されたこと、緊急避難場所として【〇〇〇中学校】【〇〇会館】の開設済みを住民へ伝達する
- ☐ 要支援者及び支援者が避難行動を開始、避難誘導を実施する
- ☐ 【〇〇〇公園北側の傾斜地】のパトロールを実施する

⑤ 避難指示が発令されたら

- ☐ 緊急連絡網による情報伝達【電話、一斉メール、SNS】を行う
- ☐ 自主防災部を通じて、避難指示が発令されたこと、緊急避難場所として【〇〇〇中学校】【〇〇会館】の開設完了を住民へ伝達する
- ☐ 自分自身の避難を完了する
- ☐ 要支援者の避難を完了、避難行動を完了したことを確認する

⑥ 緊急避難場所への移動は

- ☐ 要支援者として把握している方へ声を掛けて一緒に移動する
- ☐ 非常持出袋を持っていく
- ☐ 火災等を防ぐために、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る
- ☐ 移動は徒歩で、運動靴など脱げない靴を履く（長靴は水が入ると歩きにくいので不可）
- ☐ 杖などの長い棒で地面を確認しながら移動する
- ☐ できれば被害状況を確認しながら、防災マップに記載したルートで移動する
- ☐ 崖、川べりでは、崩れるおそれがあるので、近付かない
- ☐ 夜間は避難せず、暗くなる前に早めに避難する
- ☐ 【〇〇〇中学校】が危険と感じた場合は【〇〇会館】へ避難する

⑦ 異常現象、災害発生があれば

- ☐ **速やかに!!** その状況を区役所、消防署に連絡する
- ☐ 現象があった地域の自主防災部長へ情報伝達、避難などの防災行動をとるよう指示する
- ☐ 避難の時機を逸した場合など、緊急時には、自宅の上階の部屋、近隣の丈夫な建物へ移動するよう指示する
- ☐ 【〇〇〇消防分団】へ情報提供する

⑧ 緊急避難場所では

- ☐ 〇〇〇学区自主防災会本部を立ち上げる
- ☐ 自主防災会内の被害状況を収集し、把握する
- ☐ 電話や防災行政無線を活用して区災害対策本部へ収集した情報を伝達する
- ☐ 消防団など地域の各種団体と連携して活動し、情報共有を図る

⑨ その他

- ☐ 防災協定を結んでいる【〇〇株式会社】に避難場所開設を依頼する
- ☐ 【〇〇株式会社】に避難場所が開設されたら、相互に情報共有を図る
- ☐ 感染症の感染防止対策のため、消毒用アルコール、マスク等を準備する

添付資料

防災マップ、緊急連絡網、自主防災部名一覧、役割分担表、情報伝達文

(6) 防災行動シートの作成

防災行動マニュアル（土砂災害）ができれば、役員の皆さんが災害発生時に慌てずに行動ができるよう、また、マニュアルを読まなくても活動ができるよう、フローチャート図やチェックシートタイプの防災行動シート（様式6-3-1～様式6-3-3）を作成しましょう。作成例を参考に、地域の実情に応じた使いやすいものが作成できれば、防災行動マニュアル土砂災害編の完成です。

【作成例1】

実施すべき事項、役割分担、必要物品、緊急避難場所の開設基準、情報伝達文など全てを1枚で掲載したパターン。文字が小さくなるのが難点です。

様式6-3-1

(表面)

**〇〇〇学区 自主防災会長（本部役員含む）
防災行動シート【土砂災害】（表面）**

事前準備

- ☐ 気象情報・台風情報等の入手
- ☐ 非常時の連絡先、連絡方法の確認
- ☐ 住民への備えの呼び掛け
 - 個人での情報収集
 - 大事な家財の2階への移動
 - 雨戸・カーテンを閉める
 - いつ・どこに避難するのかの確認
- ☐ 役割分担の確認・不在時の対応確認
- ☐ 非常持出品・必要物品の準備（＊）
 - 窓ガラスの内側からテープを貼る
 - 排水溝の清掃
 - 家の周囲の片付け
 - 土のうの準備
 - 非常持出品の準備

＊ 必要物品

- ☐ 緊急避難場所鍵
- ☐ 安否確認表
- ☐ 筆記用具
- ☐ 緊急連絡網
- ☐ 携帯電話
- ☐ ラジオ
- ☐ メガホン
- ☐ 懐中電灯
- ☐ レインコート
- ☐ 非常持出品
- ☐ 飲料水
- ☐ 食料
- ☐ ライター
- ☐ マッチ
- ☐ 電池
- ☐ その他

前兆現象の発生や緊急時には
自宅内の崖や溪流から離れた
上階の部屋、近隣の丈夫な建物へ避難!!

担当	氏名・役職	氏名・役職
〇〇〇中学校	会長	北ブロック長
〇〇会館担当	副会長1	中ブロック長
〇〇株式会社開設	副会長2	南ブロック長
〇〇株式会社への連絡	副会長2	南ブロック長
自主防災部への連絡	緊急連絡網による	
関係団体への連絡	緊急連絡網による	

区役所・消防署等
避難情報
事前連絡等

↓

自主防災会長

↓

自主防災部長・各種団体

↓

地域住民

↓

☐ 前兆現象発生時の連絡があれば、至急、緊急連絡網により伝達、関係機関へ報告

大雨警報（土砂災害）かつ土砂災害危険度「危険」（紫）が発表されたら
緊急避難場所を開設する

緊急避難場所では

- ☐ 関係団体への情報伝達
- ☐ 自主防災部長等への情報伝達
- ☐ 自主防災会内の被害状況の把握
- ☐ 区役所等、関係機関との情報共有
- ☐ 消防団との連携活動
- ☐ 自主防災会本部の立ち上げ

主な前兆現象

<input type="checkbox"/> 土臭いにおい	<input type="checkbox"/> 流量の激減	<input type="checkbox"/> 斜面の亀裂
<input type="checkbox"/> 地鳴り・異常音	<input type="checkbox"/> 流木	<input type="checkbox"/> 地面の振動
<input type="checkbox"/> 水の異常な濁り	<input type="checkbox"/> 湧き水の停止	<input type="checkbox"/> 斜面はらみだし
<input type="checkbox"/> 石の転がる音	<input type="checkbox"/> 湧き水の噴出し	<input type="checkbox"/> 段差の発生・拡大

(裏面)

〇〇〇学区 自主防災会長（本部役員含む）
防災行動シート【土砂災害】（裏面）

大雨警報（土砂災害）かつ土砂災害危険度「危険」（紫）が発表されたら
緊急避難場所を開設する

伝達内容	
【高齢者等避難】	<p>大雨により〇〇〇学区に高齢者等避難が発令されました。 この発令により、〇〇〇学区では、緊急避難場所として〇〇〇中学校、〇〇会館、（※OKが出れば〇〇株式会社）を開設しました。</p> <p>食料、水、懐中電灯などの非常持出品の準備、家族との連絡など、ご自宅の避難行動に応じて避難の準備をお願いします。高齢の方など、避難に時間のかかる方で緊急避難場所へ行かれる方は、避難を始めてください。</p> <p>（時間帯によっては）</p> <p>※1 暗くなると避難することが難しくなります。早めに避難しましょう。</p> <p>※2 暗闇の中、避難場所へ移動することがかえって危険な場合は、自宅又は近所の2階以上で崖や渓流から離れた場所へ避難してください。</p>
【避難指示】 安全な場所で できる範囲で	<p>大雨により非常に災害発生の危険があるため、〇〇〇学区に避難指示が発令されました。住民の皆さんは、自宅の2階以上、近所の2階以上、緊急避難場所への避難など、ご自宅の避難行動に応じた行動をすぐに完了してください。〇〇〇学区の緊急避難場所は〇〇〇中学校、〇〇会館、（※OKが出れば 〇〇株式会社）です。非常に強い雨や道路冠水しているなど、避難が危険な場合は無理に避難せず、自宅や近所の2階以上で崖や渓流から離れた場所へすぐに避難してください。</p>
【大雨警報 （土砂災害）かつ 土砂災害危険度 「危険」（紫）】	<p>大雨により大雨警報（土砂災害）かつ土砂災害危険度「危険」（紫）が発表されました。</p> <p>この発令により、〇〇〇学区では、緊急避難場所として〇〇〇中学校、〇〇会館、（※OKが出れば 〇〇株式会社）の開設準備中です。食料、水、懐中電灯などの非常持出品の準備、家族との連絡など、ご自宅の避難行動に応じて避難行動に応じて避難の準備をお願いします。</p> <p>（時間帯によっては）</p> <p>※1 暗くなると避難することが難しくなります。早めに避難しましょう。</p> <p>※2 暗闇の中、避難場所へ移動することがかえって危険な場合は、自宅又は近所の2階以上で崖や渓流から離れた場所へ避難してください。</p>

指定地域・自宅の建物状況による避難基準			
	崖地・渓流沿いの家屋	平屋建て	2階建て以上
土砂災害特別警戒区域	緊急避難場所、区域外の安全な建物へ避難		
土砂災害警戒区域	緊急避難場所、近隣の安全な建物へ避難		崖や渓流から離れた上階の部屋へ垂直避難
それ以外の地域	緊急避難場所 近隣の安全な建物へ避難	自宅に待機	

【作成例2】

緊急避難場所の開設基準、実施すべき事項を時系列に1枚で掲載したパターン。文字は読みやすくなりますが、記載事項を絞る必要があります。

様式6-3-2

〇〇〇学区 自主防災会長（本部役員含む）

防災行動シート【土砂災害】

災害が起こったときは以下の要領で行動を！



大雨警報（土砂災害）かつ土砂災害危険度「危険」（紫）が
発表されたとき→緊急避難場所を開設
（*〇〇〇中学校 多目的ルームに対策本部設置）

気象注意報・警報発表時

<input type="checkbox"/> 気象情報の入手 ☆地上デジタルテレビのデータ放送、京都市ホームページ（京都市防災ポータルサイト）、気象庁ホームページなど	<input type="checkbox"/> 役割分担の確認
<input type="checkbox"/> ハザードマップの確認（危険場所の再確認）	<input type="checkbox"/> 非常持出袋の準備
<input type="checkbox"/> 緊急連絡網、連絡方法の確認	<input type="checkbox"/> 必要物品の準備（緊急避難場所開設用資機材含む）
	<input type="checkbox"/> 土砂災害警戒発令の伝達文の確認

前兆現象・災害発生のおそれが高まったとき

<input type="checkbox"/> 状況を区役所、消防署へ連絡	<input type="checkbox"/> 現象があった地域の自主防災部長へ情報伝達、避難等の防災行動をとるよう指示
<input type="checkbox"/> 自主防災会本部開設の判断	<input type="checkbox"/> 要支援者へ避難準備を指示
<input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備を指示	

大雨警報（土砂災害）かつ土砂災害危険度「危険」（紫）発表時

<input type="checkbox"/> 緊急連絡網による電話連絡	<input type="checkbox"/> 警戒箇所のパトロールの実施
<input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設を指示	<input type="checkbox"/> 隣接自主防災会へ情報を提供
<input type="checkbox"/> 該当の自主防災部長へ連絡（緊急避難場所開設中）	<input type="checkbox"/> 緊急避難場所での避難者の対応
<input type="checkbox"/> 要支援者へ避難開始を指示	

高齢者等避難・避難指示発令時

<input type="checkbox"/> 緊急連絡網による電話連絡	<input type="checkbox"/> 要支援者の避難状況の確認
<input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設を完了	<input type="checkbox"/> 地域の被害状況の確認（避難者からの情報を集約）
<input type="checkbox"/> 該当の自主防災部長へ連絡（緊急避難場所開設済み）	<input type="checkbox"/> 緊急避難場所での避難者の対応


〇〇〇学区 緊急避難場所

- ①〇〇〇中学校
状況に応じて、多目的ルームの上階を避難場所として開設
- ②〇〇会館
- ③（会社に連絡が取れ、OKが出れば）〇〇株式会社

【作成例3】

実施すべき事項を時系列に複数枚で掲載したパターン。文字は読みやすくなりますが、枚数が多くなります。

様式6-3-3

<p>〇〇〇学区 自主防災会長（本部役員含む）</p> <p>土砂災害 行動シート</p> <p>大雨警報（土砂災害）かつ土砂災害危険度「危険」（紫）が発表→緊急避難場所開設</p> <p>【緊急避難場所】</p> <p>◎〇〇〇中学校（開設責任者—〇〇会長）</p> <p>◎〇〇会館（担当—〇〇副会長）</p>	<p>事前の備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 気象情報の入手 <input type="checkbox"/> 緊急連絡網の確認 <input type="checkbox"/> ハザードマップの確認 <input type="checkbox"/> 必要物品の確認 								
<p>必要物品</p> <table border="0"> <tr> <td>① 緊急避難場所の鍵</td> <td>② 緊急連絡網</td> <td>③ 筆記用具</td> <td>④ ラジオ</td> </tr> <tr> <td>⑤ 携帯電話</td> <td>⑥ 懐中電灯</td> <td>⑦ 非常持出袋</td> <td>⑧ 雨具</td> </tr> </table>	① 緊急避難場所の鍵	② 緊急連絡網	③ 筆記用具	④ ラジオ	⑤ 携帯電話	⑥ 懐中電灯	⑦ 非常持出袋	⑧ 雨具	<p>前兆現象・災害の恐れが高まったとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 状況を区役所へ連絡 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設準備 <input type="checkbox"/> 該当の自主防災部長へ連絡 <input type="checkbox"/> 要支援者へ避難準備を指示
① 緊急避難場所の鍵	② 緊急連絡網	③ 筆記用具	④ ラジオ						
⑤ 携帯電話	⑥ 懐中電灯	⑦ 非常持出袋	⑧ 雨具						
<p>大雨警報（土砂災害）かつ土砂災害危険度「危険」（紫）発表時</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 緊急連絡網により連絡 <input type="checkbox"/> 緊急避難場所を開設（2ヶ所） <input type="checkbox"/> 緊急避難場所へ（〇〇〇中学校） <input type="checkbox"/> 要支援者の避難開始を指示 <input type="checkbox"/> 警戒パトロールの実施 	<p>緊急避難場所へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 電気のブレーカー切る <input type="checkbox"/> ガスの元栓を閉める <input type="checkbox"/> 必要物品を持つ <p>〇〇〇中学校</p> 								
<p>高齢者等避難・避難指示発令時</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 緊急避難場所の開設完了 <input type="checkbox"/> 緊急連絡網により連絡 <input type="checkbox"/> 要支援者の避難状況確認 <input type="checkbox"/> 被害状況の確認（避難者から情報収集） 	<p>緊急避難場所では</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 区役所、関係機関との情報共有 <input type="checkbox"/> 学区内の被害状況の把握 <input type="checkbox"/> 他の緊急避難場所（〇〇会館）と連絡 <input type="checkbox"/> 避難者の対応 <input type="checkbox"/> 消防団との連携 								